

著書及び他誌発表

Books, Book Chapters and Journals
(2013. 4-2014. 3)

著書

門間千枝: *Clostridium perfringens*, ウィルス・細菌・真菌・寄生虫同定便覧 (分担執筆), 2013, 技術情報協会, 東京.

甲斐明美: 新GMP微生物試験法 第2版, 佐々木次雄, 棚元憲一, 河村邦夫編 (分担執筆), 微生物の取扱い: 培地の調製, 接種, 培養, 観察, 80-90, 2013.

甲斐明美: 腸炎ビブリオ 第IV集, 本田武司 監修 (分担執筆), 疫学: わが国の腸炎ビブリオ食中毒の動向および輸入感染症としての腸炎ビブリオ, 34-43, 2013, 近代出版, 東京.

尾畑浩魅: 腸炎ビブリオ 第IV集, 本田武司 監修 (分担執筆), 腸炎ビブリオ感染症の臨床, 予防, 制御: 感染経路, 原因食品, 87-97, 2013, 近代出版, 東京.

小西典子: 腸炎ビブリオ 第IV集, 本田武司 監修 (分担執筆), 食品・環境からの検出: 食中毒検査, 189-196, 2013, 近代出版, 東京.

貞升健志: 成人T細胞白血病ウイルス, ヒト免疫不全ウイルス抗体, HIV関連遺伝子検査, HIVジェノタイプ薬剤耐性検査, 臨床検査データブック2013-2014 (分担執筆), 2013, 医学書院

植松洋子: 化学便覧 応用化学編 第7版, 日本化学会 編 (分担執筆), 2013, 丸善出版(株), 東京.

中江大. バイオマーカー. IN: 伊東毒性病理学; 高橋道人・福島昭治 (伊東毒性病理学編集委員会) 編; 丸善出版株式会社, 東京, 日本; 122-127, 2013.

河村葉子, 菅谷紘一, 中江大, 中室克彦, 吉川邦衛, 米澤加代. 改訂 図で見る公衆衛生学 第1版; ブックウェイ, 姫路, 日本; 2014.

他誌発表論文

(代表執筆者 (先頭に氏名を記載) が所外研究者の場合は, 当該研究の共同研究者となっている所内研究者にアンダーラインを記した.)

[微生物]

川畑拓也, 長島真美, 貞升健志, 小島洋子, 森 治代: HIV急性感染期の診断における第4世代迅速検査試薬の性能評価, 感染症誌, 87, 431-434, 2013

小嶋由香, 平井有紀, 松葉友美, 石井圭, 平井晋一郎, 横山栄二, 富田敦子, 尾畑浩魅, 河村真保, 高橋正樹, 小西典子, 仲真晶子, 甲斐明美: 中国北京ツアー参加者における複数の腸管出血性大腸菌感染症事例, 病原微生物検出状況 (国立感染症研究所), 34, 137-139, 2013.

大地貴之, 木幡幸恵, 鈴木美智子, 小澤めぐみ, 福田智裕, 小西典子, 石塚理恵, 横山敬子, 齊木大, 赤瀬悟, 門間千枝: 野菜サラダを原因とした *Yersinia enterocolitica* O8 による食中毒事例—東京都, 病原微生物検出状況 (国立感染症研究所), 35, 17, 2014.

長島真美, 宮川明子, 新開敬行, 林志直, 貞升健志, 甲斐明美: 東京都におけるHIV検査数と陽性例の解析, 病原微生物検出状況 (国立感染症研究所), 34, 254-255, 2013

新開敬行, 原田幸子, 吉田勲, 長島真美, 林志直, 甲斐明美: 散発2事例からのコクサッキーウイルスA群21型の検出—東京都, 病原微生物検出情報 (国立感染症研究所), 35, 48-49, 2014

角田徳子, 中東寛和, 金見拓, 及川智: 多摩川上流に発生したかび臭産生藍藻の遺伝子解析結果, 水環境学会誌, vol.37, No.1, 9-13, 2014

水谷浩志, 久保田菜美, 宗村佳子, 松村藍, 山本智美, 木村昌伸, 今岡浩一: 東京都における犬の抗 *Brucella canis* 抗体保有状況, 日本獣医師会雑誌, 67(3), 204-207, 2014

鈴木淳, 村田理恵, 貞升健志, 甲斐明美: 2011年~2012年の東京都におけるアニサキスによる有症事例, *Clinical Parasitology*, 24, 44-46, 2013.

村田理恵, 鈴木淳, 貞升健志, 甲斐明美: 市場に流通する生鮮農産物の寄生虫卵調査, *Clinical Parasitology*, 24, 66-68, 2013.

[食品]

新藤哲也, 貞升友紀, 鈴木敬子, 田中康一, 外川明子, 植松洋子: 食品中糖アルコールのHPLC定量法およびLC-MS

確認法, 食品衛生学雑誌, 54(5), 358-363, 2013.

田原正一, 藤原卓士, 安井明子, 早藤知恵子, 小林千種, 植松洋子. 食品中の甘味料分析における迅速な改良透析法の開発: 食品衛生学雑誌, 55, 13-18, 2014.

[医薬品]

中嶋順一: 合成カンナビノイドにおける皮膚二段階発癌実験の腫瘍抑制効果: 和漢薬(2014) No.729, 15-18.

[精度管理]

新井富生, 落合和彦, 三栗谷久敏, 大石向江, 佐々木由紀子, 草野友子, 小林千種, 佐藤かな子, 住友真佐美, 高木康: 東京都衛生検査所における外部精度管理の現状と課題, 臨床検査, 57, 1567-1574, 2013

[公衆衛生]

灘岡洋子, 早田紀子, 杉下由行, 梶原聡子, 渡部ゆう, 吉田道彦, 長谷川道弥, 林志直, 大地まさ代, 甲斐明美, 住友真佐美: 東京都における2011年麻しんの流行状況~発生动向調査の分析より~, 日本公衆衛生雑誌, 61(3), 136 - 144, 2014.

[微生物]

Momose Y., Y.Okada, H.Asakura, T.Ekawa, K.masuda, H.Matsuoka, K.Yokoyama, A.Kai, S.Saito, R.Hiramatsu, M.Taguchi, K.Ishimura, K.Tominaga, S.Yahiro, M.Fujita and S.Igimi: Evaluation of the Culture Method NIHSJ-02 Alternative to ISO 10272-1:2006 for the Detection of *Campylobacter jejuni* and *Campylobacter coli* in Chicken: Collaborative Study, J. AOAC Int., 96, 991-997, 2013.

Izumiya H., J.Terajima, S.Yamamoto, M.Ohnishi, H.Watanabe, A.Kai, T.Kurazono, M.Taguchi, T.Asai, M.Akiba, Y.Matsumoto and Y.Tamura: Genomic Analysis of *Salmonella enterica* Serovar Typhimurium Definitive phage Type 104, Emerg. Infect. Dis. 19, 823-825, 2013.

[食品]

Shimizu M., Ogura K., Mizoguchi I., Chiba Y., Higuchi K., Ohtsuka H., Mizuguchi J., Yoshimoto T.: IL-27 promotes nitric oxide production induced by LPS through STAT1, NF- κ B and MAPKs, Immunobiology, 218: 628-634, 2013.

Tateishi, Y., Hashimoto, T., Ushiyama, K., Sakai, N., Yamaki, Y., Baba, I., Nagayama, T., Takano, I.: Iodine screening of tomato, melon, ginger, ha-shoga, Japanese ginger and chestnut by applying an analytical method for bromine using wavelength-dispersive X-ray fluorescence spectrometry, Jpn. J. Food Chem. Safety. 20(1), 66-73, 2013

Oi, M., Yoshikawa, S., Ichikawa, Y., Nakagaki, K., Matsumoto, J., Nogami, S.

Prevalence of *Dirofilaria immitis* among shelter dogs in Tokyo, Japan, after a decade: comparison of 1999-2001 and 2009-2011, Parasite, 21, 10, 2014.

Nakajima, T., Nagano, C., Kanda, M., Hayashi, H., Hashimoto, T., Kanai, S., Matsushima, Y., Tateishi, Y., Sasamoto, T., Takano, I.: Single-laboratory validation study of rapid analysis method for multi-class veterinary drugs in milk, fish and shellfish by LC-MS/MS, J. Food Hyg. Soc. Japan. 54(4), 335-344, 2013.

[医薬品]

Nakajima J., Nakae D., Yasukawa K.: Structure-dependent inhibitory effects of synthetic cannabinoids against 12-O-tetradecanoylphorbol-13-acetate-induced inflammation and skin tumour promotion in mice.

J Pharm Pharmacol., 65, 1223-1230, 2013

Uemura N., Fukaya H., Kanai C., Yoshida M., Nakajima J., Takahashi M., Suzuki J., Moriyasu T., Nakae D.: Identification of a synthetic cannabinoid A-836339 as a novel compound found in a product, Forensic Toxicol., 32(1): 45-50, 2014.

[生体影響]

Tada Y., Yano N., Takahashi H., Yuzawa K., Ando H., Kubo Y., Nagasawa A., Inomata A., Ogata A., Nakae D.: Long-term Pulmonary Responses to Quadweekly Intermittent Intratracheal Spray Instillations of Magnetite (Fe₃O₄) Nanoparticles for 52 Weeks in Fischer 344 Rats, J Toxicol Pathol, 26, 393-403, 2013.

Fujitani T., Hojo M., Inomata A., Ogata A., Hirose A., Nishimura T., Nakae D.: Teratogenicity of asbestos in mice, J Toxicol. Sci., 39, 363-370, 2014

Tanaka, T., Ogata, A., Inomata A., Nakae D.: Effects of maternal exposure to imazalil on behavioral development in F1-generation mice. Birth Defects Res. B Dev. Reprod. Toxicol., 98: 334-342, 2013.

Nakagawa Y., Suzuki T., Nakajima K., Inomata A., Ogata A., Nakae D.: Effects of *N*-acetyl-L-cysteine on target sites of hydroxylated fullerene-induced cytotoxicity in isolated rat hepatocytes. Arch. Toxicol., 88:115-26, 2014

Kato T, Totsuka Y, Ishino K, Matsumoto Y, Tada Y, Nakae D, Goto S, Masuda S, Ogo S, Kawanishi M, Yagi T, Matsuda T, Watanabe M, Wakabayashi K. Genotoxicity of multi-walled carbon nanotubes in both in vitro and in vivo assay systems. Nanotoxicology 7 452-461, 2013.

Sasaki T, Tahara S, Shinkai T, Kuramoto K, Matsumoto S, Yanabe M, Takagi S, Kondo H, Kaneko T.: Lifespan extension in the spontaneous dwarf rat and enhanced resistance to hyperoxia-induced mortality., *Exp. Gerontol.*, 48, 457-63, 2013.

[公衆衛生]

Sugishita Y, Takahashi T, Hori N, Abo M. Ongoing rubella outbreak among adults in Tokyo, Japan, June 2012 to April 2013. *Western Pac Surveill Response J.* 2013;4(3):37-41.

総説・解説

(代表執筆者(先頭に氏名を記載)が所外研究者の場合は、当該研究の共同研究者となっている所内研究者にアンダーラインを記した.)

小熊恵二, 山本由弥子, 門間千枝: ボツリヌス菌感染症 (ボツリヌス中毒, ボツリヌス症), 別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.24 感染症症候群(第2版) 一症候群から感染性単一疾患まで含めて一上 病原体別感染症編, II 細菌感染症 嫌気性菌感染症, 204-212, 2013.

甲斐明美: *Yersinia* spp., 臨床と微生物40, 575-577, 2013.

甲斐明美: *Salmonella* spp., 臨床と微生物40, 578-581, 2013.

甲斐明美: 安心・安全の新常識, 食中毒の原因と予防法を知ろう(上) 食中毒とは?, 週刊教育資料, 1262, 24-25, 2013.

甲斐明美: 安心・安全の新常識, 食中毒の原因と予防法を知ろう(下) 実際に発生した事例から学ぶ予防法, 週刊教育資料, 1263, 24-25, 2013.

田端節子: 食品中のフモニシン汚染の新たな展開—*Aspergillus niger*による産生—, マイコトキシン, 63(2), 191-199, 2013.

田端節子: カビ毒について, 都薬雑誌, 35(5), 34-37, 2013.

植松洋子: 食品中の食品添加物分析における最近の取り組み. 第105回 日本食品衛生学会学術講演会シンポジウム—食品中の食品添加物分析の現状と課題—日本食品衛生学雑誌, 55(1), J-15-17, 2013.

中江大. 安全性に関するトピックの動向. ICH S10. 光安全性の評価. 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス44, 440-443, 2013.

西川秋佳, 小川久美子, 中江大, 三森国俊. 医薬品のがん

原性試験の歴史と課題. レギュラトリーサイエンス学会誌 3, 165-173, 2013.

行政報告

貞升健志, 長島真美, 宮川明子, 三宅啓文, 高野弘紀, 島田信子, 新開敬行, 林志直, 甲斐明美: 東京都のHIV検査体制と2013年検査結果の解析, 厚生労働科学研究「HIV検査相談体制の充実と利用機会の促進に関する研究」平成25年度分担研究報告書

貞升健志, 長島真美, 宮川明子, 新開敬行, 林志直, 甲斐明美: 東京都および近郊における薬剤耐性HIVの調査研究, 厚生労働科学研究「国内で流行するHIVとその薬剤耐性株の動向把握に関する研究」平成25年度分担研究報告書

貞升健志, 向川純, 山本宣和, 岩越一之, 甲斐明美, 住友眞佐美, 横山栄二: 大都市圏における分子疫学調査の有効性に関する研究, 厚生労働科学研究「地域における効果的な結核対策の強化に関する研究」平成25年度分担研究報告書

岸本壽男, 安藤秀二, 門馬直太, 東海林彰, 山本徳栄, 新開敬行, 赤地重宏, 名古屋真弓, 寺杣文男, 北本寛明, 木田浩司, 島津幸枝, 松本道明, 矢野浩司, 御供田睦代: ラボネットワークの構築と課題に関する検討(平成25年度), ダニ媒介性細菌感染症の診断・治療体制構築とその基盤となる技術・情報の体系化に関する研究, 平成25年度総括・分担研究報告書

安藤秀二, 門馬直太, 東海林彰, 山本徳栄, 新開敬行, 赤地重宏, 名古屋真弓, 滝澤剛則, 寺杣文男, 北本寛明, 木田浩司, 岸本寿雄, 島津幸枝, 松本道明, 御供田睦代, 矢野浩司: リケッチア・レファレンスセンターの活動について, 国内の病原体サーベイランスに資する機能的なラボネットワークの強化に関する研究, 平成25年度総括・分担研究報告書

皆川洋子, 高橋雅輝, 齋藤幸一, 長島真美, 新開敬行, 林志直, 森川佐依子, 廣井聡, 加瀬哲男, 高橋和郎, 戸田昌一, 調恒明, 吉富秀亮, 千々和勝己, 駒込理佳, 長野秀樹, 川上千春, 小淵正次, 滝澤剛則, 内野清子, 田中智之, 喜屋武向子, 仁平稔, 安井善宏: インフルエンザウイルス検査研究体制における地方衛生研究所間および国立感染症研究所との連携強化に関する研究, 平成25年度総括・分担研究報告書

岸本清子, 四方田千佳子: 難溶性薬物の溶出試験における界面活性剤の可溶化能に関する研究, 平成24年度厚生労働省科学研究費補助金・医薬品医療機器レギュラトリーサイ

エンス総合研究事業「後発医薬品の同等性ガイドラインにおける試験条件の最適化に関する研究」総括・分担研究報告書.

四方田千佳子, 岸本清子: 公的試験機関の溶出試験の精度確保に関する研究, 平成24年度厚生労働省科学研究費補助金・医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス総合研究事業「GMP査察手法等の国際整合性確保に関する研究」分担研究報告書.

岸本清子, 鈴木郁雄, 坂本美穂, 門井秀郎, 齋藤友里, 守安貴子: ジェネリック医薬品品質情報検討会で取り上げた検討課題の試験結果報告, 平成25年度第11回ジェネリック医薬品品質情報検討会報告書.

小西良子, 吉成知也, 青山幸二, 甲斐茂美, 栗田史子, 橋口成喜, 竹内浩, 田中敏嗣, 谷口賢, 中島正博, 田端節子, 秋山裕, 松井好之, 伊佐川聡, 石黒瑛一, 木村彩子, 佐藤孝史, 八津川洋一: 食品汚染カビ毒の実態調査ならびに生体毒性影響に関する研究 食品汚染カビ毒の実態調査, 食品汚染カビ毒の実態調査ならびに生体毒性影響に関する研究, 平成24年度 総括・分担研究報告書, 12-21, 2013.

鈴木俊也: 厚生労働省科学研究費補助金、医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「医薬品の環境影響評価ガイドラインに関する研究」平成25年度分担報告書.

鈴木俊也: 厚生労働省科学研究費補助金、健康安全・危機管理対策総合研究事業「水道における水質リスク評価および管理に関する総合研究」平成25年度分担報告書.

斎藤育江: 厚生労働省科学研究費補助金, 化学物質リスク研究事業「室内環境における準揮発性有機化合物の多経路曝露評価に関する研究」平成25年度分担報告書.

富士栄聡子, 小西浩之, 生嶋清美, 保坂三継, 中江大: 東京都における原子力発電所事故後の放射能測定室の汚染防止対策及びモニタリングポストの異常値の解析事例, 平成25年度放射線監視結果収集調査検討会 (東京), 2014

中江大: ナノマテリアルの遺伝毒性の低減化のin vivo評価. 厚生労働省科学研究費補助金・化学物質リスク研究事業 [ナノマテリアルのin vitro評価系構築に向けた基礎研究] 分担研究報告書.

中江大: 光毒性試験に関する研究. 厚生労働省科学研究費補助金・医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 [医薬品の品質、有効性及び安全性確保のための規制の国際調和の推進に係わる研究] 分担研究報告書.

小林千種, 草野友子, 佐々木由紀子, 三栗谷久敏, 大石向江, 佐藤かな子, 住友眞佐美: 平成25年度 第32回 東京都衛生検査所精度管理事業報告書, 2014.

杉下由行, 早田紀子, 秋場哲哉, 長谷川道弥, 林志直, 甲斐明美, 住友眞佐美, 鈴木葉子, 志田洋子, 板橋寿和, 多屋馨子: エコーウイルス9型による無菌性髄膜炎の地域流行、2013年—東京都. (IASR Vol. 35 p. 19-20: 2014年)

杉下由行, 高橋琢理, 山岸拓也, 有馬雄三, 堀成美: 東京都における梅毒の発生状況 (2007~2013年). (IASR Vol. 35 p. 132-134: 2014年)

杉下由行, 高橋琢理, 八幡裕一郎, 砂川富正, 春日文子: 広域食中毒疫学調査ガイドラインの作成, 厚生労働科学研究「食中毒調査の精度向上のための手法等に関する調査研究」平成25年度分担研究報告書

杉下由行: 健康危機管理の拠点として保健所への支援に取り組む. (公衆衛生情報 Vol. 43 p. 37-40: 2013年)